

「アレルギー研修会」および「各ガイドライン」に関するアンケート集計表2008年度

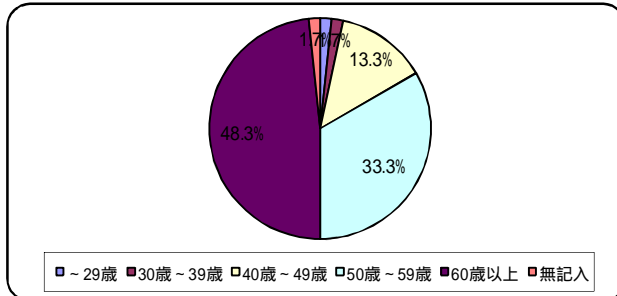
厚生労働科学研究費補助金事業

「ユビキタス・インターネットを活用したアレルギー疾患の自己管理および生活環境改善支援システム、遠隔教育システム、患者登録・長期観察システムに関する研究」

研修会場：神戸

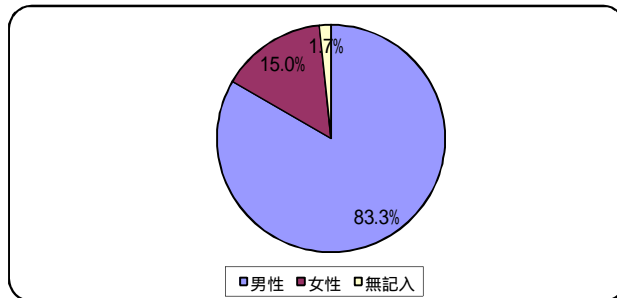
1. 先生のご年齢

～29歳	1
30歳～39歳	1
40歳～49歳	8
50歳～59歳	20
60歳以上	29
無記入	1
合計	60



2. ご性別

男性	50
女性	9
無記入	1
合計	60

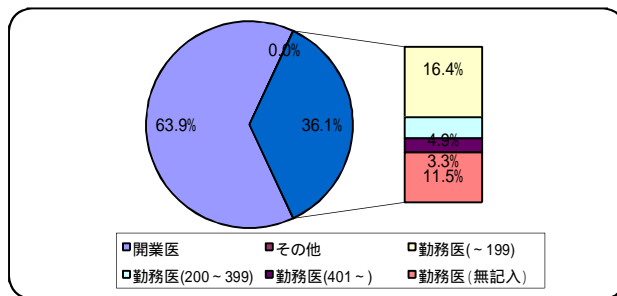


A. 専門性について

1. ご勤務の形態について

開業医	39	
勤務医	200床未満	10
	200～399床	3
	400床以上	2
	無記入	7
その他	0	
合計	61	

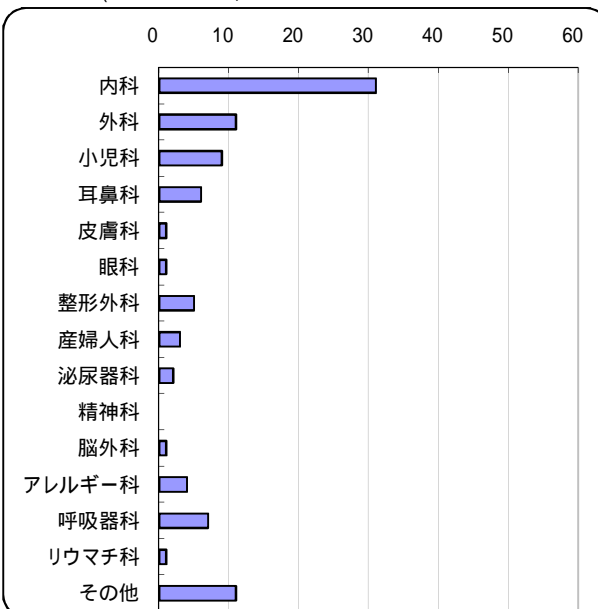
その他：無記入
重複あり



2. 専門とされる、あるいは標榜されている領域をお選び下さい(複数回答可)

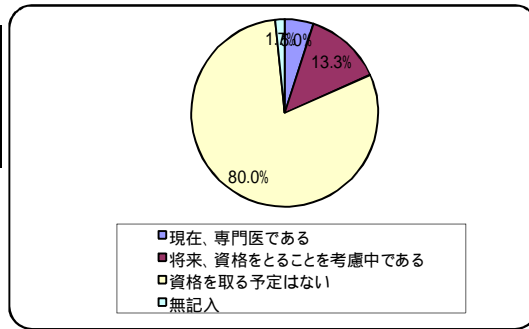
内科	31
外科	11
小児科	9
耳鼻科	6
皮膚科	1
眼科	1
整形外科	5
産婦人科	3
泌尿器科	2
精神科	0
脳外科	1
アレルギー科	4
呼吸器科	7
リウマチ科	1
その他	11

その他：循環器科2、リハビリテーション、検診、麻酔科、老人科
胃腸科、放射線科、施設、乳腺外科、無記入



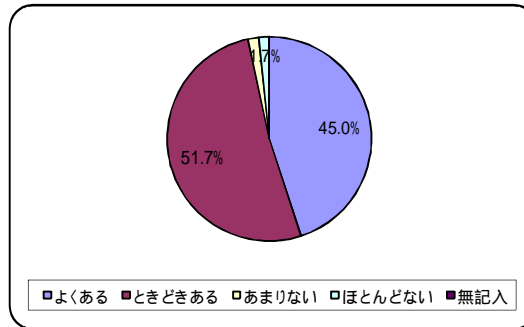
3. 日本アレルギー学会認定のアレルギー専門医について

現在、専門医である	3
将来、資格をとることを考慮中である	8
資格を取る予定はない	48
無記入	1
合計	60



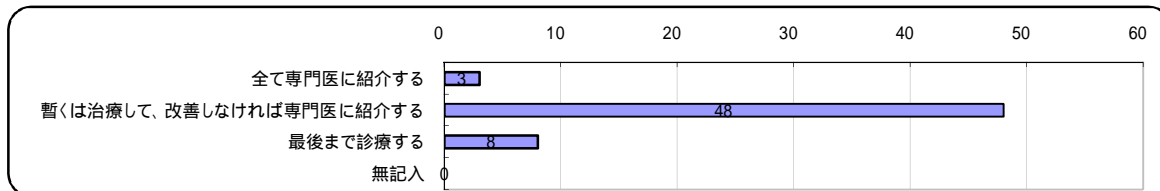
4. 喘息、アレルギー性鼻炎(花粉症を含む)、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹などのアレルギーの患者さんを診察されることがありますか

よくある	27
ときどきある	31
あまりない	1
ほとんどない	1
無記入	0
合計	60



5. 初診のアレルギーの患者さんが受診された時、どのようにされますか

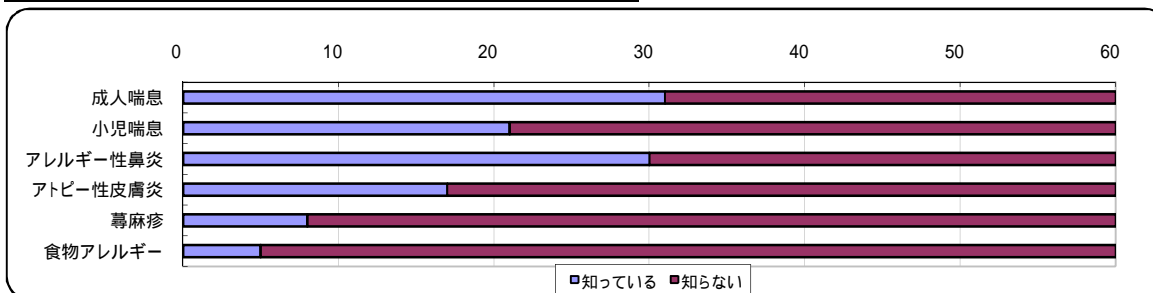
全て専門医に紹介する	3
暫くは治療して、改善しなければ専門医に紹介する	48
最後まで診療する	8
無記入	0



B. 「アレルギー疾患の診療ガイドライン」についてうかがいます

1. 学会あるいは厚生労働省の作成したアレルギー疾患の診療ガイドラインがあることをご存じですか(複数回答可)

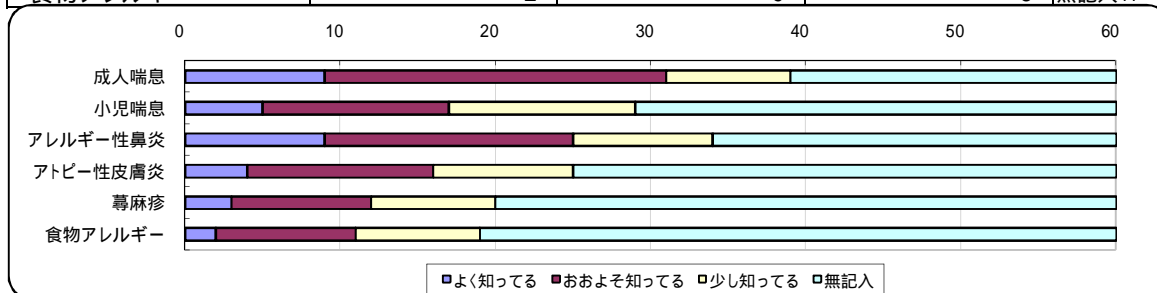
知っている	成人喘息	31	51.7%
	小児喘息	21	35.0%
	アレルギー性鼻炎	30	50.0%
	アトピー性皮膚炎	17	28.3%
	蕁麻疹	8	13.3%
	食物アレルギー	5	8.3%
全て知らない	16	26.7%	



知っているとお答えの先生に伺います(質問2～4)

2. 実際に内容はどの程度までご存じでしょうか

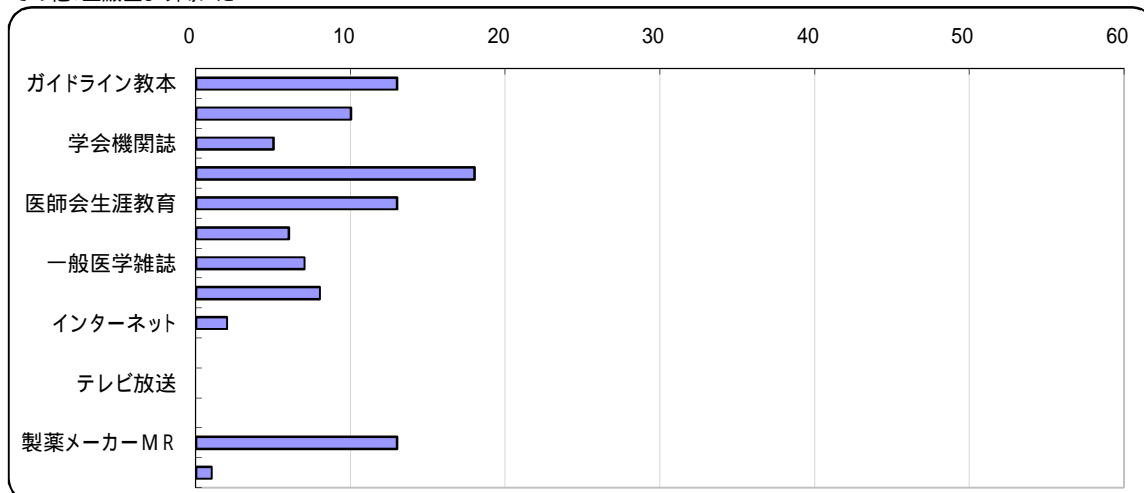
	よく知っている	おおよそ知っている	少し知っている	
成人喘息	9	22	8	無記入21
小児喘息	5	12	12	無記入31
アレルギー性鼻炎	9	16	9	無記入26
アトピー性皮膚炎	4	12	9	無記入35
蕁麻疹	3	9	8	無記入40
食物アレルギー	2	9	8	無記入41



3. どのような機会でご案内になりましたか

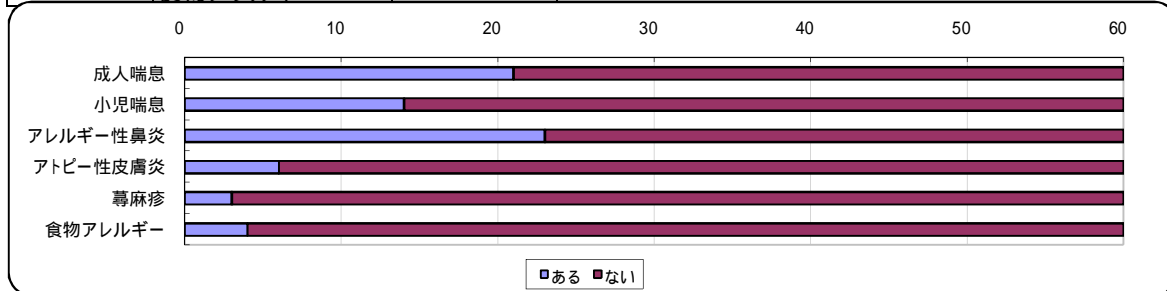
ガイドライン教本	13
各専門学会に出席	10
学会機関誌	5
各学術講演会	18
医師会生涯教育	13
医学専門書	6
一般医学雑誌	7
各種パンフレット	8
インターネット	2
新聞	0
テレビ放送	0
ラジオ放送	0
製薬メーカーMR	13
その他	1

その他: 上級医より聞いた



4. 実際に診療に利用されているガイドラインはございますか

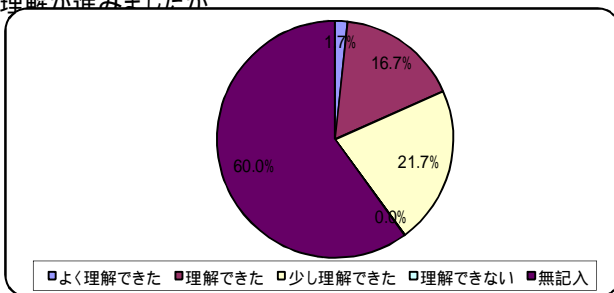
利用している	成人喘息	21
	小児喘息	14
	アレルギー性鼻炎	23
	アトピー性皮膚炎	6
	蕁麻疹	3
	食物アレルギー	4



ガイドラインを知らない、又は利用されていない先生方に伺います (質問5 ~ 7)

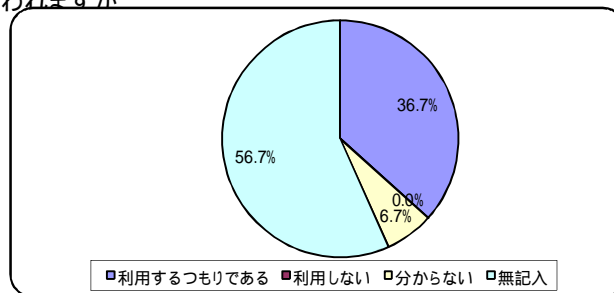
5. この研修会によりアレルギーの診療ガイドラインの理解が進みましたか

よく理解できた	1
理解できた	10
少し理解できた	13
理解できない	0
無記入	36
合計	60



6. 今後、ガイドラインを利用してアレルギー診療を行われますか

利用するつもりである	22
利用しない	0
分からない	4
無記入	34
合計	60



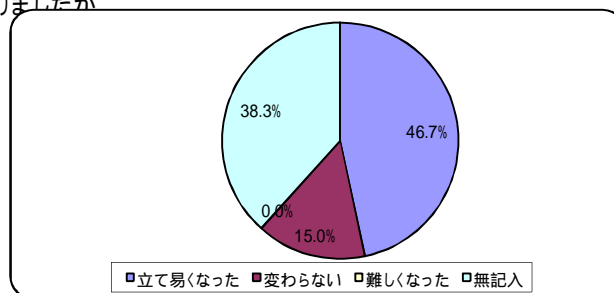
7. 利用しない理由がありましたら教えてください(自由記述)

- ・治療はしていないが相談・指導に用いたい
- ・一度ガイドラインを見てみたい

知っているとお答えの先生に伺います (質問8 ~ 13)

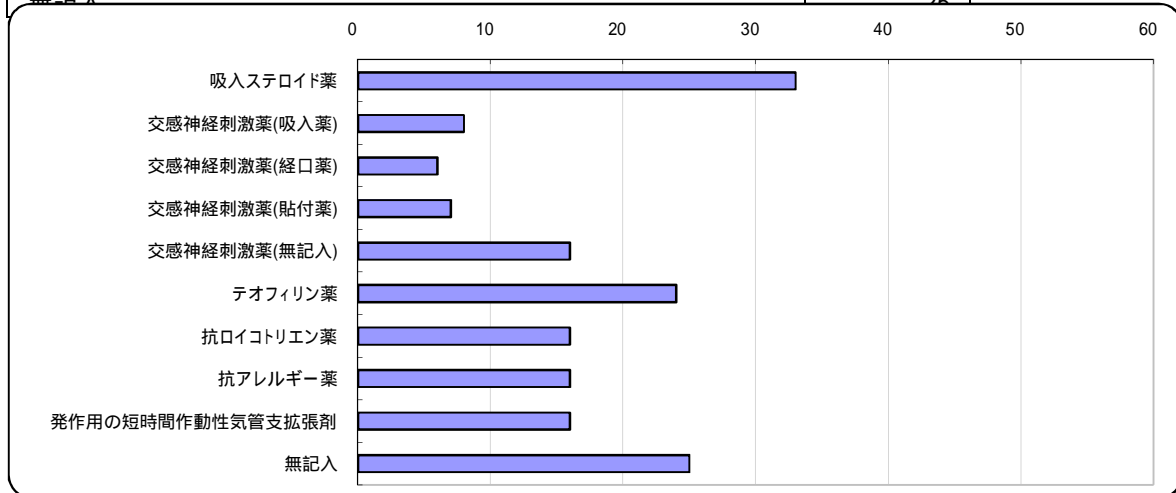
8. ガイドラインの利用により、治療方針が立て易くなりましたか

立て易くなった	28
変わらない	9
難しくなった	0
無記入	23
合計	60



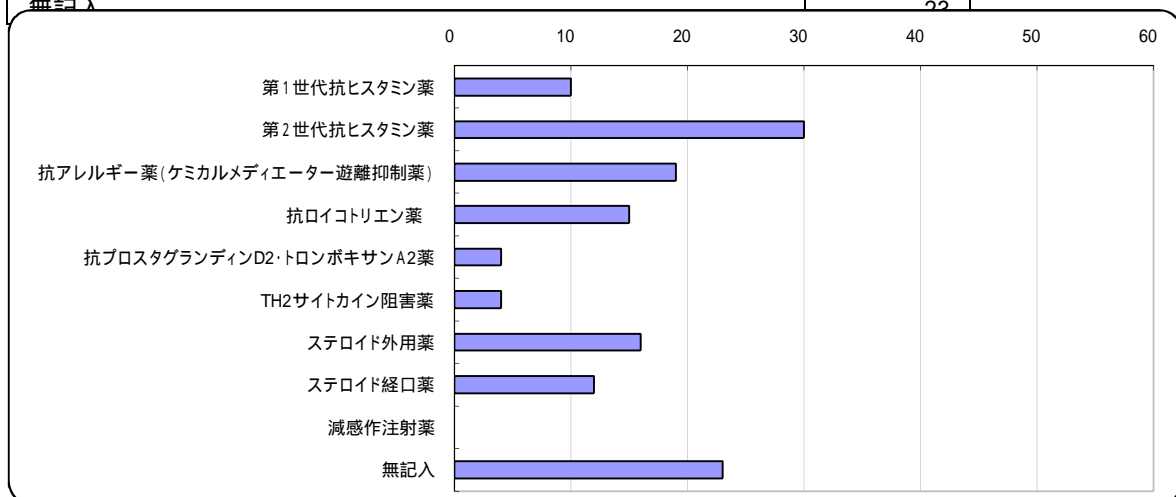
9. 喘息の患者さんに使用されている治療薬をお選び下さい(複数可)

吸入ステロイド薬	33
長時間作動性気管支拡張薬 吸入薬	8
長時間作動性気管支拡張薬 経口薬	6
長時間作動性気管支拡張薬 貼付薬	7
長時間作動性気管支拡張薬 無記入	16
テオフィリン薬	24
抗ロイコトリエン薬	16
抗アレルギー薬	16
発作用の短時間作動性気管支拡張剤	16
無記入	25



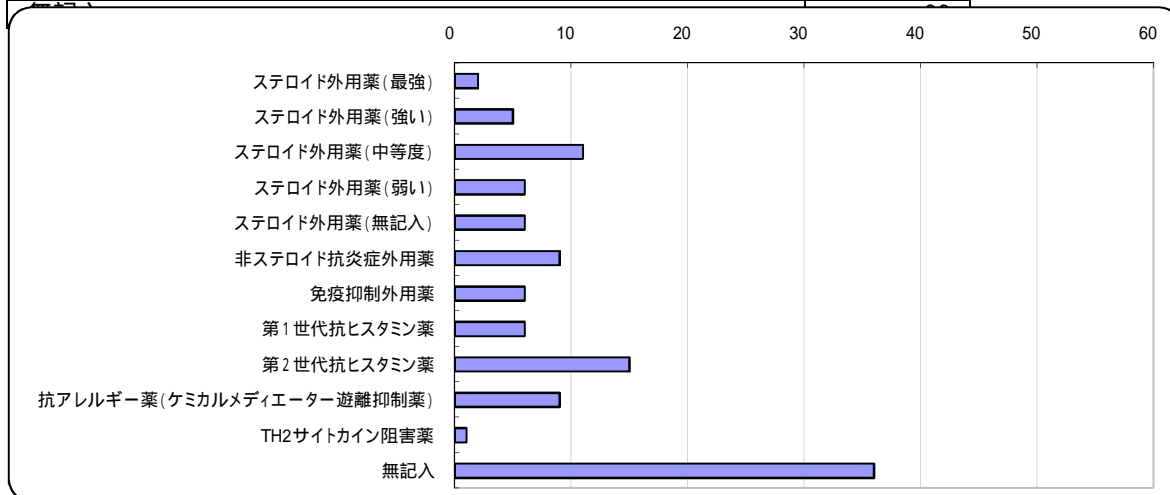
10. アレルギー性鼻炎(花粉症を含む)の患者さんに使用されている治療薬をお選び下さい(複数可)

第1世代抗ヒスタミン薬	10
第2世代抗ヒスタミン薬	30
抗アレルギー薬(ケミカルメディエーター遊離抑制薬)	19
抗ロイコトリエン薬	15
抗プロスタグランジンD ₂ ・トロンボキサンA ₂ 薬	4
TH2サイトカイン阻害薬	4
ステロイド外用薬	16
ステロイド経口薬	12
減感作注射薬	0
無記入	22



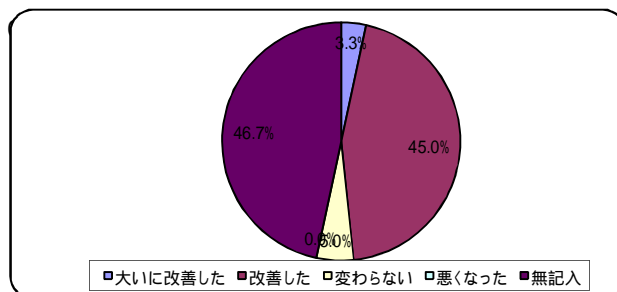
11. アトピー性皮膚炎の患者さんに使用されている治療薬をお選び下さい(複数可)

ステロイド外用薬 最強	2
ステロイド外用薬 強い	5
ステロイド外用薬 中等度	11
ステロイド外用薬 弱い	6
ステロイド外用薬 無記入	6
非ステロイド抗炎症外用薬	9
免疫抑制外用薬	6
第1世代抗ヒスタミン薬	6
第2世代抗ヒスタミン薬	15
抗アレルギー薬(ケミカルメディエーター遊離抑制薬)	9
TH2サイトカイン阻害薬	1



12. ガイドラインに沿った治療により患者さんの症状、

大いに改善した	2
改善した	27
変わらない	3
悪くなった	0
無記入	28
合計	60



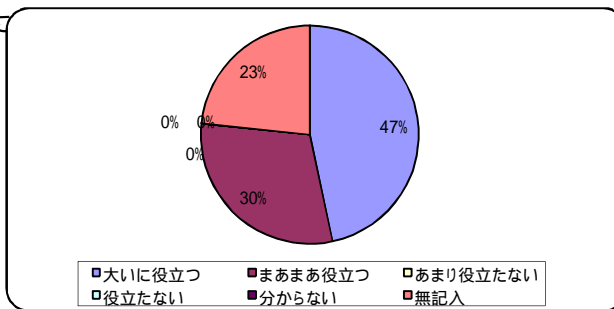
13. ガイドラインの改良すべき点を記述して下さい

- ・いずれのガイドラインも非専内医の先生にも使いやすくできていると思うが、食物アレルギーに関して、治療の項目ではレスキューのことばかり書かれていて、明白な治療が記載されていない。未完成のガイドラインでありさらなる改が必要
- ・患者向けの説明ページがもっとあれば良い

C.「アレルギー研修会」について

1. このアレルギー研修会は、先生のご診療のお役に

大いに役立つ	28
まあまあ役立つ	18
あまり役立たない	0
役立たない	0
分からない	0
無記入	14
合計	60



2. アレルギー研修会について、ご希望や改良すべき点がありましたら、お教え下さい(記述式)

- ・開始時間を15時からにして欲しい
- ・今日の2名の講師の先生の話は本当にためになった!!ありがとうございました
- ・回数多く開催されたい
- ・いずれのガイドラインも非専内医の先生にも使いやすくできていると思うが、食物アレルギーに関して、治療の項目ではレスキューのことばかり書かれていて、明白な治療が記載されていない。未完成のガイドラインでありさらなる改が必要
- ・私は明石市で開業しているのですが、明石で研修会場を設けて欲しい。神戸なら16時頃からして欲しい

以上